

先天性副腎低形成症に関する研究

研究分担者 勝又規行・国立成育医療研究センター研究所子内分泌研究部・上級研究員

研究要旨

先天性副腎低形成症の診療ガイドラインの改定案を作成し、日本小児内分泌学会の承認を得るべく学会に提出した。

A. 研究目的

先天性副腎低形成症の診療ガイドラインを改定し、その診療を向上させる。

B. 研究方法

2017年版のガイドラインを基に、班員ともに改定案を作成する。さらにその改定案の学会承認を得る。

（倫理面への配慮）

慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認に基づいて行った（承認番号 20170131）

C. 研究結果およびD. 考察

先天性 ACTH 不応症が新たに難病指定を受けたことを受け、それと整合性を保つように、先天性副腎低形成症の診療ガイドラインの改定案（資料3）を作成した。2019年3月に、改定案を日本小児内分泌学会に提出した。3月末日現在、日本小児内分泌学会の承認待ちである。

付記：2019年4月8日に、日本小児内分泌学会より正式に改定案を承認したとの連絡を受けた。

E. 結論

先天性副腎低形成症の診療ガイドラインの改定案を作成し、学会による承認を得る段階に至った。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

勝又規行. 副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)不応症. 新薬と臨床 68(3):385-388, 2019.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし